

コロナ禍から2年間 現場からの訴え

国はもっと私たちの 事を見て欲しい!

2022年1月で、新型コロナパンデミックから丸2年。医療現場ではこれまでにない厳格な感染対策や行動制限、強いストレスにさらされてきました。現在も完全な収束には至ってはいませんが、教宣部では、これまでの2年間の振り返り、伝えたいこと、言いたいことを「手記」として募集しました。勤務する病院も名前も匿名にしていますが、全国各地で同じような思いでいる人が多くいるのではないかと思います。

『私の金メダル』

看護師 Aさん



看護師 Aさん 誰かが患者さんの前で、マスクや予防衣を着用して看護する日々が訪れる事を、2年前は考えていなかったと思います。面会禁止となり、患者さんは家族と面会できない孤独な入院生活を送っています。そんな患者さんに、少しでも安心して頂けるように、笑顔で接してもマスクが壁になり、特に認知症の患者さんには恐怖感を与えてしまいます。「オレを殺すのか！警察呼べ！」「家さ帰るんだ。タクシー呼べ。」「どうして〇〇は来てくれねえんだ。」と涙ながらに訴える患者さんも少なくありません。洗濯物を届けにいらした家族からも患

者さんに会えない寂しさが伝わってきます。日々の業務に加えこういったコロナ対応が増え、私達は毎日全力疾走で働いているようなものです。コロナ禍の中、東京オリンピックは強行開催されましたが、多くの日本人選手が金メダルを取り、人々を励ましてくれたのも事実です。私たちの「金メダル」は、毎日の看護によって守っている患者さんの「命」です。それなのに診療報酬には反映されていません。私は時々悪夢を見ます。スポンジの急な階段を必死に登ってもなかなか上に辿り着けません。業務は多忙を極め、時間外も増え、家事との両立もままならず、ベッドに倒れ込んでしまう日々が続く、家族と過ごす時間も減りました。コロナ患者さんの受け入れが始まった時は積極的にコロナ病棟で働いても良いと思っ

ていたが、家族に伝えたいところ「帰って来るな。」と言われ悲しい思いで断念しました。コロナ病棟の看護師が毎日シャワー後の濡れた髪で帰宅する姿が印象に残っています。夜勤体制もコロナ病棟では2交代、急性期では3交代と異なっています。その為、両病棟掛け持ち勤務の看護師は、臨機応変に業務をこなす必要があります。ストレスを抱えていても昼食は「黙食」、仕事中は話す時間

もない程多忙で、スタッフ同士コミュニケーション不足になり、悩みを打ち明けたり聞いたりすることも出来ません。鬱になり離職した看護師もいます。こんな切ない思いの中で、どうしたら働きやすい職場環境にすることが出来るのか？苦悩する毎日です。コロナウイルス等の新しいウイルスは今後も出現する可能性があります。感染症に対応出来る専門の看護師の育成には時間を要します。今いる看護師で対応するしかないのです。今、国に強く求めたいのは、看護師の増員に繋がる施策と離職防止の対策、病院経営の改善となる早急な診療報酬のアップ改定です。

大変なのはコロナだけじゃない

看護師 Bさん



新型コロナウイルス感染症対応にあたってこれている医療従事者の方には大変感謝しています。しかし、コロナ対応者だけを優遇する政府の対策

は職員間の歪みとなっていきます。コロナ対応を支援して一般診療をしている職員も大変だと言うことも分かって欲しいのです。コロナ対応に人員と病床が割かれるため、一般病棟も常に満床状態で、人手も不足しています。そのため新人教育もままならず、業務に追われる毎日が続き、患者に寄り添った看護が出来ず心身共に疲弊しています。

コロナに対応できるのは、コロナ患者の対応だけでなく、他の診療を支援してくれるスタッフがいるからなのだという事も分かってほしいのです。私の友人がコロナ病棟で働いていますが、彼女は患者を見てるだけでなく、特別なことはしていません。感染対策は必要ですが、過剰な反応はかえって当人達を追い詰める事もあるのです。

『一般患者を軽視しないコロナ対応を』

看護師 Cさん



当院では第一波の時からコロナ患者の受け入れを行ってきました。しかし、もともと空床があつた病院とは違って、ほぼ満床で運営していた当院はコロナ患者を受け入れるために一病棟を閉鎖すると、一般の入院患者を断らなければならぬ状態となりました。救急車もできるだけ受け入れようとはしましたが、空床がなく断らざるを得ない事もありました。当院は地域の基幹病院であるため、当院が断ると患者が行き場を失う可能性があります。そのため、

どこも空き病床がなく急な患者の受け入れが困難な状態が続いています。今後政府や県に考えてほしいことは、各医療圏でコロナ患者を受け入れる病院と一般の患者を受け入れる病院を分けて運営することはできないかということ。そうすればいつ来るかわからないコロナ患者のために空いている人員やベッド数を一般患者の治療に活かせます。分けるのが難しいければ病院に優先順位をつけて、1番目の病院のコロナ患者の受け入れ枠が一杯になるまでは、1番の病院がまず受け、一杯になったら2番目の病院が受け入れられるという形にすると感染状況をしながら病床を有効に使えるようになるのではと思います。



新春インタビュー 労働組合も「クツシヨンの役割

精神科専門医 香山リカさん



Profile かやま りか

1960年生まれ。東京医科大学卒業。専門は精神病理学。現在は立教大学現代心理学部教授、神戸芸術工科大学大学院や甲子園大学心理学部の客員教授を務める。精神科医として心の問題を中心に、社会問題についても多くのメッセージを発信している。著書に「精神科医・香山リカのわかりみが深いココロの話」(白夜書房)、「明日がちょっと楽しみになるコツ 友だちのひみつ」(小学館クリエイティブ)など多数。

新型コロナウイルスの感染拡大から約2年。心置きなく古里に帰省したり、友人と会って会話を楽しんだりすることが難しくなっていました。仕事の面でも、長引くコロナ禍で「先が読めない」状況が続き、心理的なストレスは労働者のメ

ンタルヘルスに大きな影響を与えています。私の診察室にも、強い不安感を抱いて受診する人が少なくありません。コロナ以前は、労働者が上司に注意されて落ち込んだ時に同僚から声を

かけられたり、先輩からアドバイスを受けたりして、気持ちを切り替えることができませんでした。しかし、リモートワークが急速に進み、そういうスモールトーク(雑談)が難しくなりました。うまく気持ちを切り替えられず、「オンライン会議後の作業がづらい」と訴える患者さんもいます。労働者が心の健康を保ちながら働くには、スモールトークのような気分転換、つまり、仕事と生活との間の「クツシヨンの時間」が必要

「自助」が追い詰める

患者さんの中には、家族や同僚が新型コロナウイルスに感染し、なすすべのない

無力感と強い不安感から、「私は生きている価値がない。社会の役に立っていない」と悩む人もいます。

菅義偉前首相が自民党の新総裁に選出された直後、目指す社会像として「自助・共助・公助」と発言し物議を醸しました。私は「自助」という自己責任論が患者さんを追い詰めている面があるので

はないかと考えています。多くの人が思い悩んでいるのに、政府のコロナ対策は一時しのぎで場当たり的なものばかり。感染拡大第5波の時には「原則自宅療養」という方針まで打ち出しました。「自助」の最たるもので

政府には「命が一番大事。窮地に陥っている人には手を差し伸べます」というメッセージを出して実行して欲しい。苦しみ、困っている人々に寄り添わず、科学的知見や根拠の乏しい対策を声高に叫ぶ政治はもう終わりにしなければなりません。

コロナ過でスタートした技師生活

診療放射線技師 Dさん



と極力出会わないようにする動線の確保や、新たな設備の配置など病院全体で大きく変化しました。毎日のように来る陽性者の撮影をする中で、撮影手順の見直しや装置の更新など、より安全に手際よく検査を終えられるように業務改善を行いま

した。多いときには感染病床が満床になり、ポータル装置での撮影に半日かかることも少なくありませんでした。放射線科全体で協力しながら負担を分散して業務に取り組みました。現在、当地域でも感染状況は落ち着いています。今後も感染予防に気をつけながら業務に当たっていきたいです。

世の中ではGOTOトラベルやGOTOイートなど、医療従事者は我慢しているのに、と言う思いもあるなか、GOTOが感染経路と考えられる症例も散見されました。そう言う患者さんに限って傲慢であったため看護師のストレスがさらに高まりました。コロナ病棟のスタッフの中には、陽性患者さんがグリーンゾーンに入ってくる夢やコロナ病棟が満床になる夢など、悪夢をみることに

こんなへき地にまで拡がるとは

看護師 Eさん



僕が診療放射線技師として働き始めて2年が経とうとしています。就職した2020年の4月は新型コロナウイルスへの危機感が本格的に高まってきた時期だったと思います。

幸いにも、当時僕の地域にはまだ新規陽性者は出ていませんでした。そのため、ある程度時間をかけて感染対策を教わる

ことができました。その後しばらくして当院にもコロナの波がやってきました。防護着の着方など教わっていたものの、いざ本番では慣れずに手こずっていた事を覚えています。しばらくしてフェ

イスシールドなどの物品がなくなり自分たちで作っていました。中等症以上の患者を受け入れるようになってからCT検査も多くなり、外来患者

域にはまだ新規陽性者は出ていませんでした。そのため、ある程度時間をかけて感染対策を教わる

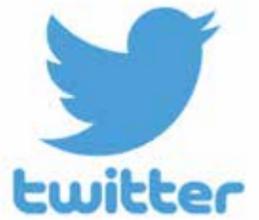
ことができました。その後しばらくして当院にもコロナの波がやってきました。防護着の着方など教わっていたものの、いざ本番では慣れずに手こずっていた事を覚えています。しばらくしてフェ

イスシールドなどの物品がなくなり自分たちで作っていました。中等症以上の患者を受け入れるようになってからCT検査も多くなり、外来患者

の甘い考えはすぐに否定

また、今後も新たな感染症が発生する可能性は大いにあるので、へき地においても医療機関や保健所の増員など有事に機能する医療体制の確立が必要と考えます。

SNS活用のススメ



SNSとは



SNSは、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略称で、インターネットを通じて、家族や友人など個人的なコミュニケーションに役立つだけでなく、労働組合など団体においても対話と共同を広げることができるツールです。加えてSNSは、テレビや新聞より速報性に優れ、社会の出来事をいち早く知ることができる情報収集ツールでもあります。

現時点（21年12月時点）で主なSNSのアクティブユーザー数は、グラフの通りです。今回の「SNS活用のススメ」では、労働組合において対話と共同を広げることにも最も役に立つツイッターの活用について解説します。

	ツイッター Twitter	フェイスブック Facebook	インスタグラム Instagram	ライン LINE
国内ユーザー数	4,500万人	2,600万人	3,300万人	8,900万人
コンテンツの種類	・テキスト 140字 ・リンク ・画像 ・動画 ・LIVE 対応	・テキスト ・リンク ・画像・動画 ・LIVE 対応	・画像 ・動画 ・LIVE 配信可能	・テキスト ・画像 ・リンク ・LIVE 配信可能
特徴	・リアルタイム性 ・拡散力が広く読まれる ・ハッシュタグの活用でキャンペーンを展開できる	・コンテンツの豊富さ ・グループ内での活用に便利だが、ツイッターと比べて拡散力が低い	・写真や動画がメイン ・アクティブユーザーが多い ・ハッシュタグ	・メッセージとタイムラインの二つを持つ ・スタンプが豊富 ・トークや通話などモバイルでのアクティブユーザーが多い

ツイッターの活用がなぜ労働組合で必要？

労働組合がなぜツイッターの活用をすすめる必要があるのでしょうか？それは、今、多くの人々がツイッターによって社会の動きを知り、人と人のつながりを新たに作り出しているからです。労働組合もツイッター上に登場し、情報を発信することが重要になっているのです。

総務省「情報通信白書」2018年版によると、「世の中の出来事や動きを知るため利用するメディア」を聞いた調査において、全年代ではテレビが52%といちばん多く次いでインターネットが44%ですが、10代・20代・30代ではインターネットが飛び抜けていちばん多くなっています。そのインターネットの中でSNSが最も利用時間が長く、SNSの中でツイッターが最も社会の動きを知ることにも活用されています。また、「SNSを利用して良かったこと」を聞いた調査では、「社会や経済などに関する情報を得ることができた」が26%、「新しい友人ができた」「相談相手があった」など「新しいつながり創出」と「既存のつながり強化」が53%と、社会の情報を得るだけでなく、人と人とのつながりを作り出すことにSNSが役立っています。ツイッターでは労働組合の姿を広く伝えることができ、多くの人とのつながりを作り出すことが可能になるのです。

「労働組合」としてのツイッターの運用のポイント

1 街頭宣伝と同じスタンスで

ツイッター運用で必ず心配になるのが「炎上」やクレームです。しかし、街頭宣伝と同じスタンスで活用すれば大きな問題は起こりませんので、安心してツイッター活用にチャレンジしましょう。

2 誰が担当するのか？

ツイッターは機関紙誌や宣伝物と同じように効果的な活用ができるように組織的に位置づけて運用することが大切です。機関紙誌と同じで、ツイッターも担当者任せにするのではなく複数体制にします。ツイッターはパスワードを共有すれば複数の担当で活用できるようになっています。労働組合においてのツイッター活用成功の秘訣の基本は、一人の担当者任せにせず複数体制にして集団的な英知を結集して運用していくことです。

3 定期的な振り返りを

月に1回など定期的に、機関紙誌や各種宣伝物と一緒にSNS活用についても組織的に振り返りをして教訓を共有しながら活用を改善することが大切です。日常的には担当者にツイッターの運用を任せ、定期的には組織として振り返り改善する必要があります。また、SNSは機関紙と違って、発行の締め切りがあるわけではないので、担当者任せにしてしまうと活用が滞ってしまいがちです。組織的に月1回は振り返りながら担当者をフォローし、活用が滞っている場合はツイッターの具体的な運用を組織的に考えて、改善していくことが必要です。

ツイッターで特に注意が必要なことには、個人情報流出や、プライバシーや著作権の侵害、フェイクニュースや虚偽情報、差別的な言葉の拡散があります。もしも、問題のあるツイートをしてしまった場合には発覚した時点でできるだけ早く当該ツイートを削除し、謝罪のツイートをする必要があります。そして、その問題の検証を行い、繰り返さない対策を考えることが必要です。

ツイッターの始め方

ツイッターの始め方は簡単です。PCでもスマホでもいいのでYahoo!やGoogleなどの検索エンジンで「<https://twitter.com/>」にアクセスして「アカウントを作成」をクリック、あとは感覚的な操作で必要事項を入れるだけです。詳しくは下記QRコードより全労連「SNS活用のススメ」をご覧ください。



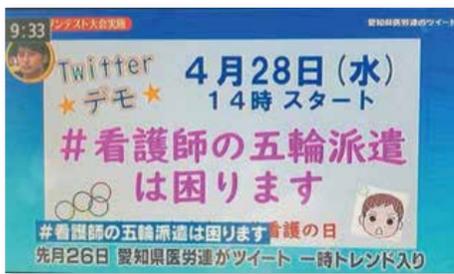
ツイートが社会的要求を実現させることも

時にツイッターの発信は、社会の動きや、制度・政策まで動かす可能性を秘めています。2020年5月には、当時の安倍政権が強行しようとした「検察庁法改正案」に対し、「#検察庁法改正案に抗議します」のハッシュタグ（※1）が拡散。演出家の宮本亞門さんら著名人もツイートするなど、総ツイート数400万の「ツイッターデモ（※2）」が起こり、法案は廃案に追い込まれました。

また、医療分野では、愛知県医労連のツイッターデモ「#看護師の五輪派遣は困ります」は、20日間で51万ツイートと大きな運動となりました。フジテレビ「バイキング」や、読売テレビ「あさパラ」など海外含め71社が報道しました。さらに、テレビ朝日「グッド！モーニング」でも取り上げられた、「わたしたちは使い捨ての駒ではありません」のツイートは、237万インプレッション（見られた数）を記録するなど大きく拡散されました。

- ※1：#（ハッシュタグ）はSNSの投稿に対する“タグ”として利用され、ハッシュタグの後に特定のキーワードを付与することで投稿がタグ化され、同じキーワードでの投稿を瞬時に検索できたり、趣味・関心の似たユーザー同士で話題を共有したりすることが可能
- ※2：ツイッターデモは、#（ハッシュタグ）に続く「同一の言葉」を、「同一の時間帯」に投稿することで、ツイッターのトレンド入り及びトレンド上位ランクインを狙う行動。トレンド入りすると、話題の言葉と見なされ、マスコミなどからHOTワードなどとして注目される。ツイッターは世界でも閲覧できるため世論の喚起にとどまらず、政治を動かすきっかけの一つになることも。

右
左
上
下
読
売
テ
レ
ビ
「
あ
さ
パ
ラ
」
フ
ジ
テ
レ
ビ
「
バ
イ
キ
ン
グ
」



宮本亞門さんの「#検察庁法改正案に抗議します」ツイート

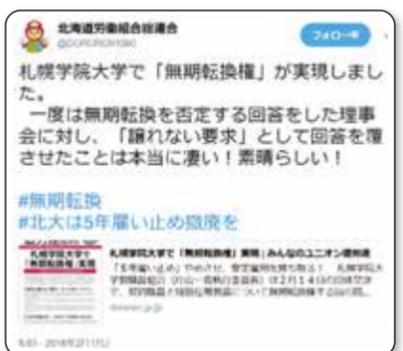
愛知県医労連のツイートが次々トレンドに!



左・237万回閲覧された「わたしたちは使い捨ての駒ではありません」ツイート
右・「私たちが求めているのは、月4万円の賃上げです。」ツイート

労働組合が勝ち取ってきたものをツイートしよう

いま労働者の8割以上は労働組合に入っていない。労働組合の基本的な役割なども知らない労働者が多いわけですから、これまで労働組合が勝ち取ってきたものをツイッターで積極的に知らせていくことが重要です。



労働組合の強味は、現場の実態、当事者のリアルな声をつかんでいることです。これと同時に労働組合が改善しようとしている取り組みを的確にツイートしていけば大きな共感を得ることができます。



現場の実態、当事者のリアルな声、労働組合の取り組みをツイートしよう

社会的な注目を集める出来事に関連するツイートをしよう

ツイッターはどのメディアより速報性が高いため、社会的に注目を集めている出来事に関するタイムリーなツイートが多くの人に読まれます。その出来事が労働組合と関連する場合は、できるだけ早くツイートすることで労働組合の存在感を示すことができます。



諸行動などの告知をツイートしよう

組織外に参加を広く呼びかける諸行動については、告知チラシがある場合はチラシ画像をツイートに付けて配信しましょう。また、告知チラシの画像がなく日時や場所などの入ったテキストだけのツイートでも有効です。



署名の呼びかけや労働相談の告知をツイートしよう



読者の声

拡大版

全国の仲間の声届けます

全厚労ニュースの人気コーナー「読者の声」を拡大してお届けします。今回は、全厚労をひっぱりメーンバー中央執行委員にコメントをお願いしました。読者の皆様と繋がりを持つことのできる大切なコーナー☆まだ投稿したことがない方も2022年は「読者の声」をお待ちしております。



今のところ、コロナが落ち着いていて、マスクをしなくても以前のように色々なことを再開できたことが、嬉しいです。当たり前の日常がそうではなかったことに改めて気がつかされました。

(長野)

——本当にそうですね、コロナ以前の生活や労組活動が恵まれた環境だったことに気が付かされました。新たな変異株も見つかり

感染拡大も危惧されますが、我々、医療人が率先して感染拡大防止に努めつつ、もうひと踏ん張り頑張りましょう。明けない夜はない!!

(KH)

12歳になったばかりの子供のコロナワクチン(モデルナ)接種に悩みましたが、リスクを天秤にかけ、2回目接種も終わりました。発熱だけで済んでほっとしています。(茨城)



コロナ禍でも取り組める活動として病院周辺の清掃活動 (富厚労滑川支部)

——ワクチンの副反応が最小限に抑えられて良かったですね。コロナ収束までもう少し時間がかかるかもしれませんが、今後対策を徹底しお互いに感染予防に努めましょう。

(SS)

最近ではコロナ感染者が激減していることがとても嬉しくて安心できます。早くどこか旅行に行きたいですが、そこは医療従事者なので自重しています。何も気にせず旅行に行ける日が必ず来ます。それまでみんなで頑張りましょう!

(WD)

ラインになったおかげで移動に時間がかからず、手軽に参加できています(自宅での参加も可能なので)。皆さんが頑張っている声が、自分の活力になっています。(福島)

(SS)

最近では断捨離にハマり不要品をフリマアプリに出品して売れると楽しくて片付けもやる気がでます。自分の不要な物を誰かがリサイクルしてくれるのはありがたいですね。

(秋田)

11月に入りコロナ新規感染者は大幅に減っています。このまま終息してくれたらいいな……と願います。(静岡)

(TK)

私もフリマアプリ利用して、売ったり買ったりしています。本当に売れるのは楽しいですね。楽しみながら、やる気が出るのは素敵な事ですね。

(AR)

10月号1面の「届け、医療労働者の声」の表紙は、インパクトがある。政権にこの声が届くと良い!現場の事をわかって欲しい!

(AM)

——私もフリマアプリ利用して、売ったり買ったりしています。本当に売れるのは楽しいですね。楽しみながら、やる気が出るのは素敵な事ですね。

(UR)

10月号1面の「届け、医療労働者の声」の表紙は、インパクトがある。政権にこの声が届くと良い!現場の事をわかって欲しい!

(AK)

——私もフリマアプリ利用して、売ったり買ったりしています。本当に売れるのは楽しいですね。楽しみながら、やる気が出るのは素敵な事ですね。

(TG)

最近ではコロナ感染者が激減していることがとても嬉しくて安心できます。早くどこか旅行に行きたいですが、そこは医療従事者なので自重しています。何も気にせず旅行に行ける日が必ず来ます。それまでみんなで頑張りましょう!

(UR)

——私もフリマアプリ利用して、売ったり買ったりしています。本当に売れるのは楽しいですね。楽しみながら、やる気が出るのは素敵な事ですね。

(OK)

——私もフリマアプリ利用して、売ったり買ったりしています。本当に売れるのは楽しいですね。楽しみながら、やる気が出るのは素敵な事ですね。

(TG)

——私もフリマアプリ利用して、売ったり買ったりしています。本当に売れるのは楽しいですね。楽しみながら、やる気が出るのは素敵な事ですね。

(HT)

——私もフリマアプリ利用して、売ったり買ったりしています。本当に売れるのは楽しいですね。楽しみながら、やる気が出るのは素敵な事ですね。

(NK)



オンラインで青年オータム交流会開催 (富厚労)



最近、年齢と共に食事に変化が出てきました。若い時の様にお腹一杯に食べるとお腹が痛くなってしまいます。健康のために体に優しい生活を心掛けたいです。(長野)

——すごくわかります。私もだんだんと揚げ物やお肉の脂がきつくなってきました。腹八分にとどめて、適度な運動を一緒にがんばりましょう。(NK)

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第170回は神奈川と大分をお願いします。



神奈川 中村淳一さん

中村さんは、組合つぶしにあった後にも組合に残り続けてきた一人。8年位前から検査室の次長のパワハラがひどく、目標面接の際に残業申請を抑圧する発言などをテープに収め、今年2月に団交で取り上げました。次長の異動を勝ち取り、振休と年休を半日分割してしか与えない違法について、3年にさかのぼって約15名に100万円を越す支払いをさせるなど、組合の存在感を印象づけました。

この活躍をコロナ禍でチラシがまげず全職員に知らしきれていませんが、支部書記長や労働安全委員となり、職場から法違反を一掃するために奮闘中です。

大分厚生連で言語聴覚士として勤務している元島慎介です。急性期病院でコミュニケーション障害や嚥下障害に対してリハビリを行っています。プライベートでは3児の父であり、休日は鬼ごっこ中心に体力強化を図っております。また野球・釣り・お酒の走攻守三拍子が揃い来年のドラフトに備えています。しかし、コロナ禍で自粛しており寂しい日々を送っています。皆様と同様に一日でも早くコロナ禍が終息することを切に願っています。



大分 元島慎介さん

コミュニケーションを得意としていますので、ぜひ集会などで見かけた際はお声掛けください。

みんなの共済を広げよう

医労連共済の給付件数は、個人共済で年間1万件超、組織共済をあわせると3万件超になっています。助け合いの医労連共済を、組合員に大きく広げていきましょう。



共済説明会、開催しよう

例：セット7型+医療16口

掛金 **3,000円** / 月額

入院1万円(1日目から)・休業5千円(連続5日以上1日目から)、死亡100万円・交通事故死亡400万円、そのほか後遺障害保障など保障は盛りだくさん。

聞かせて・教えて!のコーナー

☆10月号で募集した「聞かせて・教えて」の結果発表☆

質問1 10月号で一番興味があった面は？

票が多かったのは、全厚労からの「地域医療どう考える？」等の質問に政党が回答した記事第2弾や、幹部・看護師WEB学習会の記事が載った2面が15票。次いで各県の組合員が要求を掲げてアピールしたカラー1・4面の「届け！医療労働者の声!!」が12票、3面が3票でした。

質問2 10月号1・4面「いのちまもる」取り組みの紹介。あなたもアピールするなら？

最も多かったのが「医療・介護従事者の増員・賃上げ」の声の19票、次いで「診療報酬の大幅引き上げ！患者窓口負担の軽減」が5票、「地域医療を守れ！」が4票、「すべての人に手厚い社会保障」が3票となりました。現場の増員・賃上げが急務なことが「聞かせて」のコーナーからも分かる結果となりました。

さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

質問1 新年号で一番興味があった面は？

A=1・8面 B=2・3面
C=4・5面 D=6・7面

質問2 新年スタート!今年始めようと思っていることは？

A=運動・食事改善
B=スキルアップ・資格取得
C=習い事・趣味
D=貯金・投資
その他

☆HPをリニューアルしました☆

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。



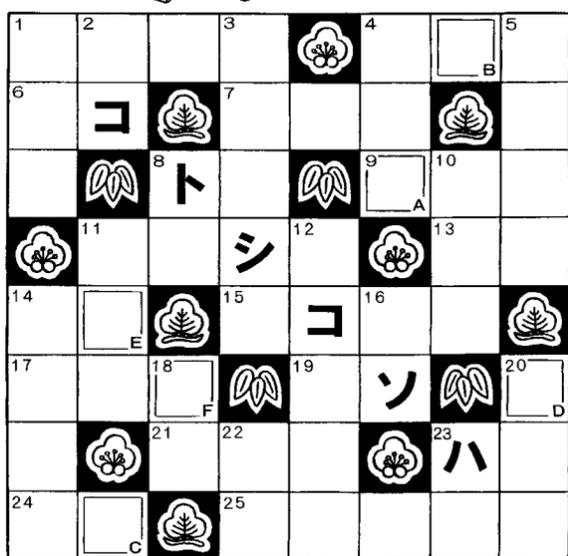
読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。

教宣部の つぶやき

地球人として
コロナ禍に入
て約2年。予断は
許しませんが、感
染状況も落ち着い
た中、検査を受け
て帰省の予定です。
夏の豪雨では実家
も床下浸水して大
変だったとのこと。
毎年のように台風
や豪雨が繰り返
ると同時に、あ
ちこちで地震も頻
発しています。アメリ
カ力の
児童被害など地球規模の
化を感じます。お金持
ちと
違い、リアルな地球を俯瞰
することは出来ませんが、
地球を守りたい気持ちでい
っぱいです。
(MT)

新春 クロスワード

【作/モロズミ勝】



答 A B C D E F

ヨコのカギ

- 1 正月の遊び。昔は顔に墨を塗られたとか？
- 4 寝ているときに発します
- 6 力士が踏みます
- 7 今年が良いことがあります
- 8 そうな……がします
- 8 早起きは三文の……
- 9 書物の間にはさみます
- 11 「羚羊」って読めますか？
- 13 特別天然記念物です
- 13 解……。小……。社……。
- 14 伝……。珍……
- 14 父や母の兄弟
- 15 本道から分かれた道路
- 17 ひょっとこの相棒
- 19 口笛上手。スズメより一回り大きい鳥
- 21 抽象……。……館
- 23 ……着。……のち曇り
- 24 借楽園のある市
- 25 雄同士がキックボクシングのように戦う動物

- 23
- 22
- 20
- 18
- 16
- 14
- 12
- 11
- 10
- 8
- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

【問題】二重ワークに入る文字をA～Fの順に並べて、できる言葉はなに？

タテのカギ

- 1 新春の消防出初式の呼び物は……乗りです
- 2 トラは……科の哺乳類です
- 3 限られた一部分……麻酔……回。年末……
- 4 逆立ちのことで……
- 5 ママ……。竹馬の……
- 8 正月の料理
- 10 魚へんに秋と書く淡水魚
- 11 サンマは秋刀魚です
- 12 みかげ石とも呼ばれます
- 14 前門はトラ、後門は……
- 16 ……汁。カニ……。手前……
- 18 機械装置や仕組み
- 20 約76年ごとに現れる尾の長い……彗星
- 22 たこ揚げのことを……。のほりという地方もあります
- 23 まもなく足音が聞こえてきます